

次号予告

特集 量子コンピューター

量子コンピューターの基礎	藤井啓佑 (京都大学)
量子回路と古典回路の相違	高橋康博 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所)
量子アニーリングによる組合せ最適化	大関真之 (東北大学)
量子アニーリングのためのハードウェア技術—超伝導エレクトロニクスと超伝導量子回路—	川畑史郎 (産業技術総合研究所)
量子回路設計と最適化	山下 茂 (立命館大学)
量子コンピューターを使ってみよう—QISKitを用いた量子プログラミングの紹介—	今道貴司, 井床利生, ルディー・レイモンド (IBM東京基礎研究所)

メンバーリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメンバーリストに登録すると、学会ならびに各研究会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orjs.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●今月号の特集は昨年11月に開催された関西支部シンポジウム「表彰とOR」にてご講演いただいた内容を中心に構成しています。「表彰」という挑戦的なテーマで、期待と不安が入り混じった気持ちを抱えながら始めた企画ですが、いずれも魅力あふれる記事が揃った読み応えのある特集になったのではないかと思います。記事を読むと、審査側はもちろん応募側についても記事を読んで初めて気づかされる事柄が多く、表彰にまつわる多くの知見が個人的な繋がりに沿ったごく限られた範囲にしか伝わっていないのだと思知らされます。

●私自身のことを振り返ると、文献調査に始まり、論文の書き方、授業、学生指導など、教育や研究の活動

に関わる多くの知見も、関連する書籍や講習などを通じて得たものは少なく、自身の経験や個人的に教えていただいたものが非常に多いことに気づかされます。これらの知見は、日々の活動を改善するために非常に重要なことですが、簡単に体系化できることでも検証できることでもなく直接的な研究成果となり難いため、なかなか表に出てこないのも仕方がないことなのかもしれません。

●しかし、せっかくOR学会というコミュニティがあるわけですから、日々の活動に関わる多くの知見を気軽にかつ広く交換する機会を設けられれば面白いのではないかと思います。

(梅谷俊治)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	猿渡 康文 (筑波大学)
関西支部編集委員長	森田 浩 (大阪大学)
オーガナイザ	山下 信雄 (京都大学)
関西支部編集委員	乾口 雅弘 (大阪大学), 梅谷 俊治 (大阪大学), 木庭 淳 (兵庫県立大学), 増山 博之 (京都大学), 吉富 康成 (京都府立大学)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成30年5月号 第63巻 第5号 通巻689号

代表者 大山 達雄

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 猿渡 康文

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

- 本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- 本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。